

平成24年4月28日
担当 第6学年 門脇ひろみ

- 1 ねらい
縄文時代の自然環境や人々の生活、社会の様子について、身近な遺跡の見学や体験を通して関心を持ち、調べる。
- 2 評価
米づくりが始まる以前の時代（縄文時代）の様子に関心を持ち、当時の人々の生活や、社会の様子について進んで調べようとしている。
- 3 学習活動について
 - ・教科 社会（単元名「米づくりの村から古墳のくにへ」）
 - ・ねらい 縄文時代の人々の生活や社会の様子について関心を持ち、調べ、まとめる。
 - ・身に付けさせたい力
見学、体験など具体的な活動やまとめたり表現したりする活動によって、人々の生活や遺跡などの意味を考えることができる。
- 4 事前指導
 - ・縄文の森広場の概要について説明し関心を持たせる。
 - ・縄文時代についての知識を確認しておく。
 - ・当日の学習の流れについて説明し、活動内容を確認させておく。
- 5 当日の指導
 - (1) 見学学習
復元住居、遺構表示等の野外展示、及び館内の展示見学を予定。
 - (2) 体験学習
勾玉作り体験
- 6 当日の交通手段 市営バス
- 7 事後指導
縄文の森広場を見学・体験して分かったことや感想などをカード等にまとめ、発表会を行う。

利用学習報告書

平成24年8月23日
担当 第6学年 門脇ひろみ

1 事後指導について

(1) 実施日

平成24年5月 9日5校時 社会 (学習の振り返り)
5月21日5校時 社会 (学習したことを新聞にまとめる)
(他、朝自習等の時間帯)

(2) 主な内容

- ・探検ノートや体験活動の作品をもとに感想を発表し、学習を振り返る。(社会科)
- ・学習したことのまとめとして縄文時代の歴史新聞を作成する。(社会科)

1 送付する資料

- (1) 児童の感想 (抜粋 6点6名分)
- (2) 児童の作成資料 (個人新聞4点)

(1) 児童の感想 (抜粋)

- ・縄文人のすごいなと思ったところは、すごくくらしの知恵がつまっているということです。今ならありえないことが、昔の人はふつうだったことにびっくりしました。(S女)
- ・昔の人は家の中で火をたいて煙で虫を退治していたそうです。だからお線香みたいなにおいがするなと思いました。(M女)
- ・縄文人はかしこいとおもいました。人が住むのにいい場所、例えば川がながれているところや木の実が豊富なところ。家の周りで食べ物を作っていたし、ゴミ捨て場もありました。道具をつくるのにもすぐれていて石器などいろいろありました。(D男)
- ・石、貝、土、どんぐりなどは縄文人の生活に関係があります。漁をしたり木の実とりをしていました。自然のものを使い、道具にする縄文人は、現代人よりすぐれているのかもしれない。(M女)
- ・勾玉づくりで石をけずっている時は、あまりけずれなくて指が痛くなりました。だけど、最後に勾玉をひもに通す時、とてもわくわくしてうれしかったです。(N男)
- ・勾玉づくりは正直、大変でした。角を丸くなるまでけずって作るのにも苦労しました。意外と水もたくさん使うのでしょっちゅう水を変えました。すごく手はつかれたけど、オリジナルの勾玉ができてよかったです。(S女)

(2) 児童の作成資料

